

親子すまいかた教室

住まいやまちのサイズ

監修 文化女子大学 沢田 知子さん

美しい飾りつけの和洋

部屋の壁や棚に、ものを飾ることがあると思いますが、どのように飾ると美しいか、ちょっとしたヒントをご紹介します。「美しい飾りつけ」にも和風と洋風の方法があります。

西洋の場合、「シンメトリー」とよばれる左右対称の飾りつけが美しさの基本になります。たとえば、リビングルームの暖炉周りを、何枚かの絵や写真などで飾りつけます。この時の絵や写真の掛け方は、暖炉の中央を中心線にして左右対称に飾りつけるのが一般的です。ところが、日本でよく行われる飾り方は、左右対称とは限りません。床の間の場合、普通中央に掛け軸をかけても、床に置く花は左右どちらかにずらして飾られます。これは、「アシンメトリー」とよばれる左右非対称の飾りつけ方です。日本の独自文化である床の間は、飾りつけのためだけにある特別な空間。その飾り方にも、独特の決まりがあります。こうしたモノの飾り方は、「美しさ」に対する考え方の違いを反映しています。



暖炉の飾りつけ (シンメトリー)



床の間の飾りつけ (アシンメトリー)

お正月の床の間飾り

みなさんは床の間を見たことがありますか。日本の住まいに和室が少なくなっているので、あまり見る機会がないかも知れません。しかし、古い住まいや和風の旅館などには、必ずある場所で、日本の住文化を特徴づける大切な役割を果たしています。

特に一年の区切りとして、国民的な行事となっているお正月では、床の間の飾りつけには特別な意味があります。

三方という台にのせた鏡餅は、五穀豊饒（ごこくほうじょう）を祈る年神さまを意味し、床の真ん中に置きました。掛け軸の絵柄も、朝日の昇るところや富士山、鶴亀を描いたものなどを用い、年の初めのおめでたい気持ちを表わしました。このような特別な日は、同じ大きさの掛け軸を2つ、「シンメトリー」に飾り、ふだんの日との違いを際立たせています。同じ場所でも、飾るものや飾り方によって日常と違う雰囲気をつくることのできるのも、和の生活文化の特徴です。

飾りつけが違うリビングとファミリールーム

西洋の住まいの流れをくむアメリカの一般住宅では、玄関の扉を開けると、すぐにリビングルームになります。扉を開けたとたんに目にするこの部屋は、いつもお客さまが来ていいように、センスのよい家具やインテリア小物によって美しく飾られています。これらの飾りや飾り方は単なる装飾の意味だけではなく、その家の主婦の趣味や、家の知性をも表しているといわれています。では、日常の生活はどこで行われるのでしょうか。それは、リビングルームの奥のファミリールームです。ここには、テレビがあり、子どもの遊び道具があるなど、気軽に楽しく子育てができる部屋なのです。少しくらい汚れたり、疵（きず）がついても気にならない丈夫な家具を置き、伸び伸びと子育てができる部屋です。1800年代中ごろのアメリカでは、住まいにフォーマルな部屋と、インフォーマルな部屋をつくらせて、使い分けようになりました。リビングルームとファミリールームの雰囲気の違いは、部屋の飾りつけ方の違いからきているといえましょう。

こころ豊かなスローライフのための情報誌

木族の家通信

家族が集う木の住まい
株式会社 木族の家
きぞく KIZOKU NO IE

2015年6月1日号 (毎月1日発行)

No.80

毎日続けられる身近な省エネ術

ジメジメを賢く退治!

梅雨どきに知ってトクする省エネ術をご紹介します。

コツ エアコンの除湿はタイプを考えて

エアコンの除湿機能を利用するときは、ちょっとご注意を。「弱冷房除湿」タイプの場合は、冷房をかけるより省エネになります。しかし、「再熱除湿」タイプは、冷房機能より消費電力が高くなる場合があります。このタイプのエアコンに関しては、除湿ではなく冷房を選び、設定温度を少し高めにして運転するほうが省エネに。



コツ 洗濯物は換気扇と扇風機で

梅雨どきは洗濯物の部屋干しが多くなります。できれば、リビングではなく浴室に干し、換気扇を回して湿気を排出しましょう。また、洗濯物に風が当たるよう扇風機を併用すると乾きやすくなります。扇風機の消費電力は、エアコンに比べて低いのですが、DC（直流）モーター式なら、AC（交流）モーター式よりもさらに省エネです。



コツ 除湿機の利用は方式を見極めて

除湿機にはいろいろなタイプがあります。いまのような蒸し暑いときに使いたいという人には、コンプレッサ式がおすすめです。少し運転音は大きいものの、使用電力が低くて省エネに。ただし、冬など低気温のときは、除湿パワーが下がります。1年中使いたい場合は、デシカント方式か、ハイブリッド方式を選んでみては。



コツ 換気扇の掃除で、湿気を効率よく退治

換気扇は、健康を保つために大切な設備です。室内の湿気や臭い、CO₂などを屋外へと排出し、カビなどの発生を抑えてくれます。幸い、浴室やトイレの換気扇の消費電力はそれほど高くありません。ただし、カバーやフィルターが汚れていると、運転の効率が下がり、電気のコストがかかります。定期的な掃除を心がけたいものです。



コツ 新聞紙や炭で除湿と消臭を!

雨で濡れた靴などは、新聞紙や炭などを入れて吸湿すると、カビや臭いなどの発生が抑えられます。ただし、靴のなかが汚れないよう、靴下などに入れてから使しましょう。新聞紙や炭は、下駄箱や押し入れのなかの湿気取りにもおすすめです。ホコリなどで汚れた炭は、水で洗って、天日で干せば吸湿力が回復します。



